

呉市立明德中学校区教育研究会



未来に求められる力

- 様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力
 - 様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていく力
 - 複雑な状況変化の中で目的を再構築することができる力
- 【学習指導要領解説「総則編」 第1章総説より】

研究主題

自ら考え判断し、意欲的に自己を表現する子どもの育成
～子どもが進める「めいとく・トライ」の取組を通して～

子どもが進める「めいとく・トライ」とは

子どもが学びの状況を把握し、進め方について試行錯誤をするなど
自ら調整しながら進める学習

子どもの姿



見通す



やってみる



振り返る

課題について、解決の見通しをもっている。

課題に対して自分の考えをもち、論理的に表現している。

話し合いや協働を通して、自分の考えを深めている。

振り返りにより、自分が身に付けた学び方を認識している。

学習評価により、自らの学習の仕方を改善している。

教師は子どもの学びの「伴走者」

子どもが「解決したい」課題を共に創る。

多様な学び方を提供する。

振り返りにより、次の学びへつなげる。

試行錯誤でいる時間や場を確保する。

実態

- 学習に前向きに取り組んでおり、育成を目指す資質・能力が少しずつ育ってきた。
- 小集団であるため、多様な考えに触れる機会が限られ、児童生徒の学びを広げることが十分でない。